



FY2021

個人投資家向け説明会

株式会社アサカ理研

2021年8月28日

【証券コード】
東証JASDAQ：5724



- 1. 会社概要**
- 2. 事業概要**
- 3. 成長戦略**
- 4. 株主還元**

- 1. 会社概要**
2. 事業概要
3. 成長戦略
4. 株主還元

はじめに



「都市鉱山」から貴金属を回収する

SDGs企業

他企業との連携を図り、独自の技術を活かして

「LiB to LiB」を実現

1971年

金の回収技術を開発
プリント基板からの金回収



1985年

システム開発・販売開始



2008年

JASDAQ上場



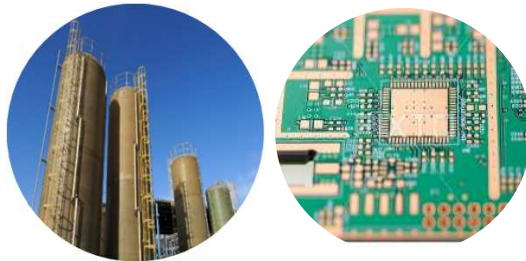
2020年

LiB計画本格始動



1969年 創業

当初は従業員4人
環境事業から始まる



1995年

洗浄分野へ
新規参入



2014年

いわき工場設置



2021年



商号	株式会社アサカ理研
創業	1969年（昭和44年）8月
本社所在地	福島県 郡山市
資本金	5億4百万円
従業員数	190名（連結）
子会社	連結子会社 2社
証券コード	5724 東京証券取引所 JASDAQスタンダード
単元株式数	100株



代表取締役社長 油木田祐策

(百万円)

	FY2020 3Q	FY2021 3Q	増減
売上高	5,505	6,018	+513 +9.3%
営業利益	48	355	+306 +634.6%
経常利益	28	357	+328 1158.5%
(利益率)	0.5%	5.9%	+5.4pt
親株主に帰属する 当期純利益	91	268	+177 +194.0%
1株あたり 当期純利益額	17.98	53.19	

| 外部要因の影響

- + 貴金属相場の上昇に伴う製品価格上昇
- + 19年の台風19号被害からの復旧
- + COVID-19からの顧客生産高の回復
- + 民生機器関連の需要拡大

| 内部要因の影響

事業戦略を踏まえた事業構成の見直し

- + 不採算事業の撤退
- LiB再生事業への研究開発費の拡大
- 持続的な成長を目指した総合的な基盤強化
- + Web会議、デジタルマーケティング
推進に伴う販管費の減少
- インセンティブ報酬費用の増加

(百万円)

	FY2020 実績(A)	FY2021 5月公表(B)	8月公表(C)	(B)-(A)	(C)-(B)
売上高	7,412	7,600	8,042	+187 +2.5%	+442 +5.8%
営業利益	85	250	405	+164 +192.8%	+155 +62.0%
経常利益	63	250	401	+186 +294.6%	+151 +60.4%
(利益率)	0.9%	3.3%	5.0%	+2.4pt	+1.7
親会社株主に帰属 する当期純利益	120	200	310	+79 +66.4%	+110 +55.0%
1株あたり 当期純利益額	23.70	39.60	61.36		

- FY2021通期業績は4Qについても堅調さが継続する見通しであり、8月に上方修正を発表。
- 主要因は民生機器関連市場の拡大による受注増加や、貴金属相場が当社前提を上回ると想定していること。その他、COVID-19対策でのWeb会議等の推進による経費減少を見込む。

1. 会社概要
- 2. 事業概要**
3. 成長戦略
4. 株主還元

事業概要 -売上高・経常利益 FY2021 3Q-



 その他 
(アサカ弘運・分析)

売上高
228百万円

セグメント利益
20百万円



システム事業 

売上高
100百万円

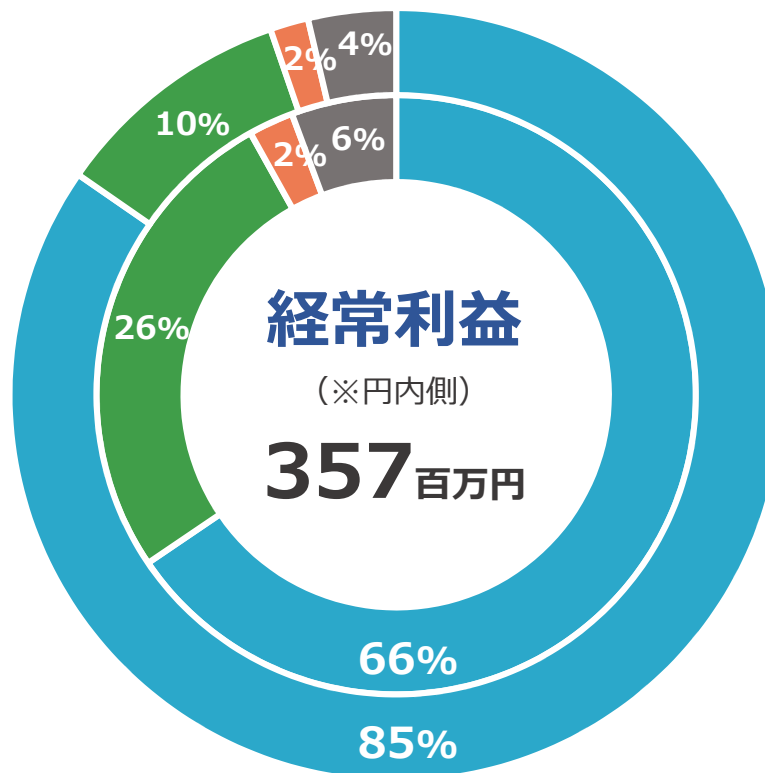
セグメント利益
8百万円



売上高

(※円外側)

6,018百万円



貴金属事業 

売上高
5,279百万円

セグメント利益
234百万円



環境事業 

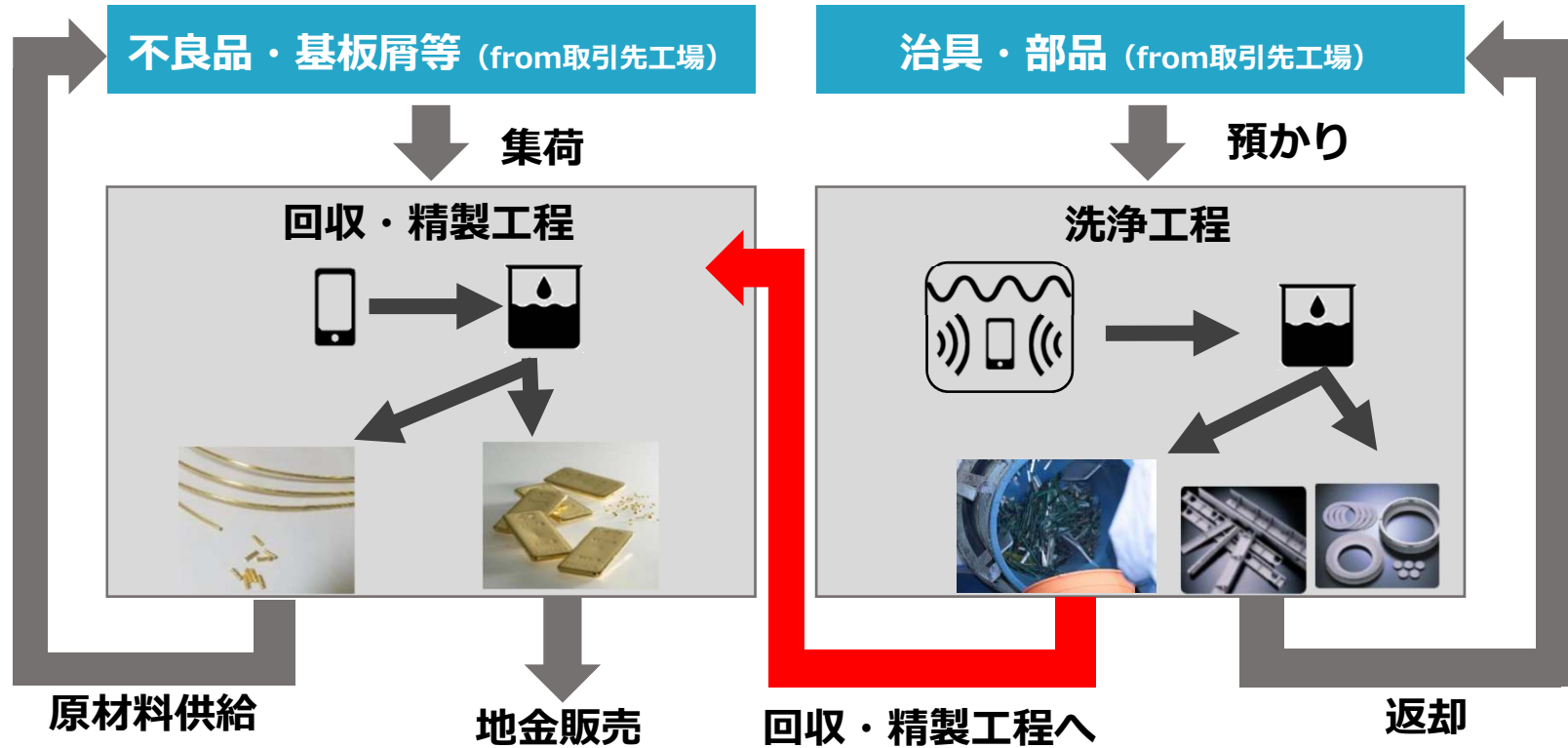
売上高
629百万円

セグメント利益
94百万円



※各事業の記載金額については、セグメント間取引を含む金額











取引先ニーズ	
高回収率	■ 回収ロス抑制
短納期	■ 成膜装置 予備部品数縮小 ■ 貴金属材料 在庫負担軽減
高品質 洗浄	■ 成膜装置 不純物除去 -ダメージ軽減

ASK独自のコア技術
<p>■ <u>分離・精製技術</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓スピーディな回収精製 ✓高い回収率 ✓他社に先駆け実用化
<p>■ <u>選択的剥離技術</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓独自の薬液配合 ✓溶解速度コントロール ✓母材を傷めない



水晶 = 「産業の塩」
 半導体 = 「産業の米」
 様々な用途で使用

**水晶・半導体
 業界で
 高い支持**



⇒ **価格競争力に直結**

取引先（プリント基板メーカー）

エッチング工程で使用済エッチング用薬液が発生
（塩化第二鉄廃液・塩化第二銅廃液）



強み.1

創業以来築いてきた
信頼と実績

強み.2

東北地方シェア

90%

アサカ理研

廃液回収

銅回収



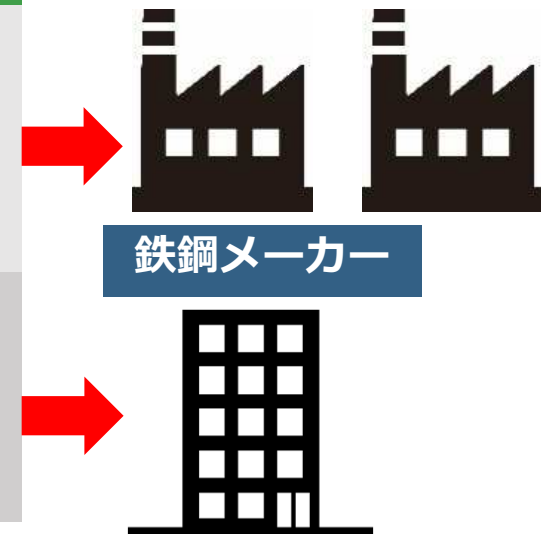
塩化第二鉄液



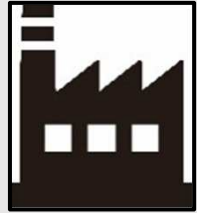
銅ペレット



下水処理場 工場廃水処理



製造メーカー



ニーズ

1. 測定データの入力ミス・改ざんを防止
2. データ処理・分析時間の短縮
3. 様々なメーカー機器データの一元管理

解決策の提供

受注・リピート

- ◆ システム導入
- ◆ 製品カスタマイズ
- ◆ 導入の水平展開

強み.1

高いインターフェイス技術

強み.2

品質管理システムに特化

強み.3

リピート率

80%

※直近5年間におけるリピート率

アサカ理研

品質管理システム [Mr.Manmos]



提供する価値

- ✓測定データをダイレクトに入力
 - ・入力ミス・改ざんの予防
- ✓多彩なデータ処理機能
 - ・解析作業の簡素化
- ✓データ解析機能
 - ・不適格品の兆候分析 等々

1. 会社概要
2. 事業概要
- 3. 成長戦略**
4. 株主還元

社是

豊かな創造性を発揮し、社会貢献を果たす

ミッション

事業活動を通じてSDGsが目指す持続可能な社会の実現を図る

ビジョン

「貴金属」 および **「LiB to LiB」** の分野において
再生の第一人者となり、循環経済をリードする

バリュー

溶媒抽出を代表とする湿式回収工程技術をより一層高める

**LiB再生事業の
早期収益化**

**レアメタル事業の集大成
パートナーとの協働
積極的な先行投資**

**貴金属事業の
収益力向上**

**営業力強化による集荷量アップ
製造工程の自動化
技術昇華による事業領域の拡大**

企業風土改革

**工場リノベーション
人事評価制度の再構築
改訂CGコードへの積極的対応**

1. レアメタル事業の集大成

- EVを中心とするリチウムイオン電池（LiB:Lithium-ion Battery）市場の拡大
- 社会、環境、経済すべてに大きな将来性とビジネスチャンス
- 環境問題解決、持続可能な開発目標（SDGs）への貢献
- レアメタル事業で培ったレアメタル回収技術の活用

2. パートナーとの協働

- 前処理プロセスの課題克服のため、21年8月に東邦亜鉛(株)と[共同研究開発契約を締結](#)
- 複数社との提携交渉を継続し、安定したサプライチェーンの構築を目指す

3. 積極的な先行投資

- LiB再生事業に経営資源を集中
- いわき工場にて、約10億円を投じLiBリサイクルの量産プラントを増設中



LiB再生事業の早期収益化

安定供給の確保が 政策的に重要な非鉄金属

- ✓ 地球上の存在量が稀
- ✓ 技術的理由で抽出困難
- ✓ 経済的理由で抽出困難

1 H																	2 He
3 Li	4 Be	■ レアメタル										5 B	6 C	7 N	8 O	9 F	10 Ne
11 Na	12 Mg	■ レアアース										13 Al	14 Si	15 P	16 S	17 Cl	18 Ar
19 K	20 Ca	21 Sc	22 Ti	23 V	24 Cr	25 Mn	26 Fe	27 Co	28 Ni	29 Cu	30 Zn	31 Ga	32 Ge	33 As	34 Se	35 Br	36 Kr
37 Rb	38 Sr	39 Y	40 Zr	41 Nb	42 Mo	43 Tc	44 Ru	45 Rh	46 Pd	47 Ag	48 Cd	49 In	50 Sn	51 Sb	52 Te	53 I	54 Xe
55 Cs	56 Ba	*	72 Hf	73 Ta	74 W	75 Re	76 Os	77 Ir	78 Pt	79 Au	80 Hg	81 Tl	82 Pb	83 Bi	84 Po	85 At	86 Rn
87 Fr	88 Ra	**	104 Rf	105 Db	106 Sg	107 Bh	108 Hs	109 Mt	110 Ds	111 Rg	112 Cn						
			57 La	58 Ce	59 Pr	60 Nd	61 Pm	62 Sm	63 Eu	64 Gd	65 Tb	66 Dy	67 Ho	68 Er	69 Tm	70 Yb	71 Lu
			89 Ac	90 Th	91 Pa	92 U	93 Np	94 Pu	95 Am	96 Cm	97 Bk	98 Cf	99 Es	100 Fm	101 Md	102 No	103 Lr



主なレアメタルの産出上位国とシェア率

資源名	資源上位産出国（2020年）						上位3か国 合計シェア
ニッケル	インドネシア	30%	フィリピン	13%	ロシア	11%	54%
マンガン	南アフリカ	28%	オーストラリア	18%	ガボン	15%	61%
リチウム	オーストラリア	49%	チリ	22%	中国	17%	86%
タンタル	コンゴ 民主共和国	39%	ブラジル	22%	ルワンダ	16%	77%
コバルト	コンゴ 民主共和国	68%	ロシア	5%	オーストラリア	4%	76%
レアアース	中国	58%	アメリカ	16%	ビルマ	13%	87%

(出所 : U.S. Geological Survey)

不安定な調達源・資源の枯渇懸念



ビジネスモデル -現在-



海外

非資源国サプライチェーン

廃棄業者

精錬所



工場
(製造工程)



店頭



消費者



資源国サプライチェーン

廃棄業者

精錬所



工場
(製造工程)



店頭



消費者



国内サプライチェーン

精錬所



工場
(製造工程)



店頭



消費者



国内

廃棄業者

海外

非資源国サプライチェーン

非資源国の抱える課題

1. 安定調達
2. 資源再生
3. 資源流出

資源国サプライチェーン

資源国の抱える課題

1. 環境破壊
2. 強制労働

国内サプライチェーン

国内の抱える課題

1. 安定調達
2. 資源再生
3. 資源流出

国内

ビジネスモデル -未来-



海外

非資源国サプライチェーン

アサカ理研

廃棄業者

安定調達

資源再生

精錬所

工場
(製造工程)

店頭

消費者

資源国サプライチェーン

アサカ理研

廃棄業者

安定調達

資源再生

精錬所

工場
(製造工程)

店頭

消費者

鉱山

国内サプライチェーン

精錬所

工場
(製造工程)

店頭

消費者

地産地消+地再生

安定調達

資源再生

アサカ理研

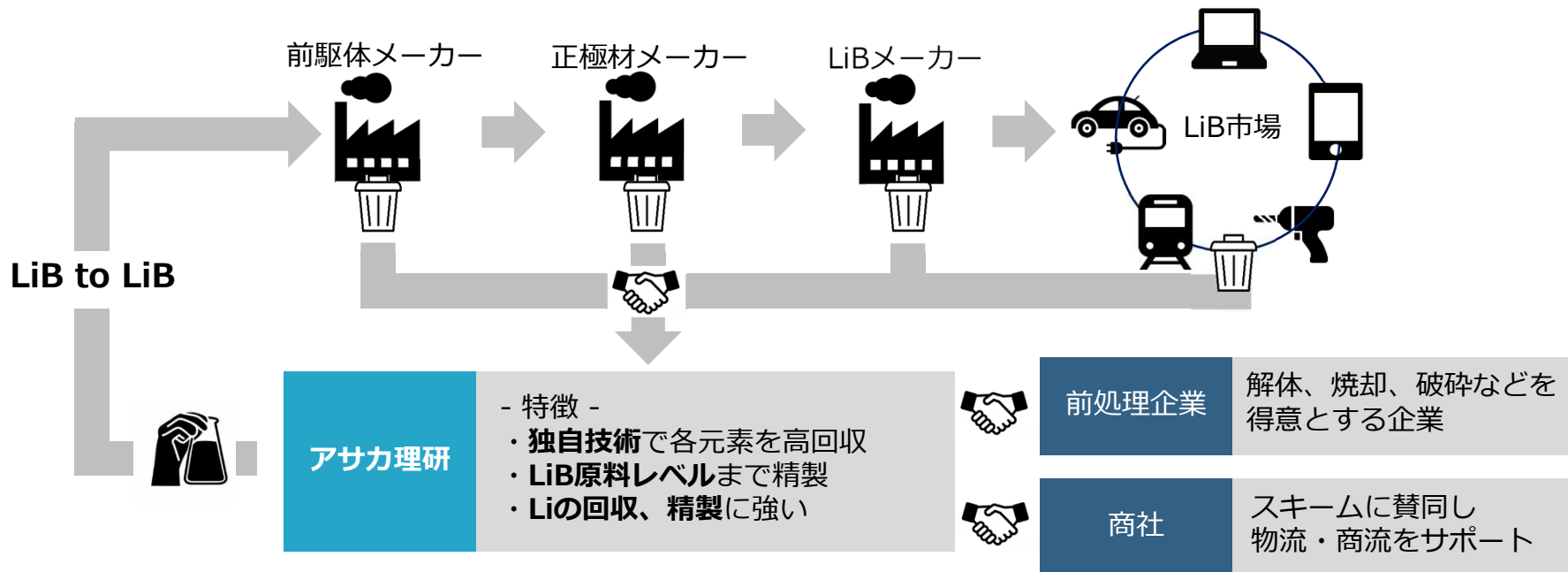
廃棄業者

1. アサカ理研の強み

- **LiB材料まで再生** ⇔ 他社は他用途（ステンレス材や磁性材）
- **調達リスクを軽減** ⇔ 現状LiB原料はすべて海外輸入で海外情勢、COVID-19等の影響を受ける
- **リチウムの高回収** ⇔ 他社は回収できて低回収率

2. ビジネスモデル

- LiBスクラップからLiB材料の生産（**LiB to LiB**）を目指す
- 各企業と**アライアンスを組むこと**でより強固なスキームを構築する



1. アサカ理研の強み

- **LiB材料まで製造** ⇔ 他社は他用途（ステンレス材や磁性材）
- **調達リスクを軽減** ⇔ 現状LiB原料はすべて海外輸入で海外情勢、COVID-19等の影響を受ける
- **リチウムの高回収** ⇔ 他社は回収できても低回収率

2. ビジネスモデル

- LiBスクラップからLiB材料の生産（**LiB to LiB**）を
- 各企業と**アライアンス**を組む事でより強固なスキームを構築

**前処理を得意とする企業と
共同研究開発契約を締結**





成長戦略 -リサイクル工程 概要-

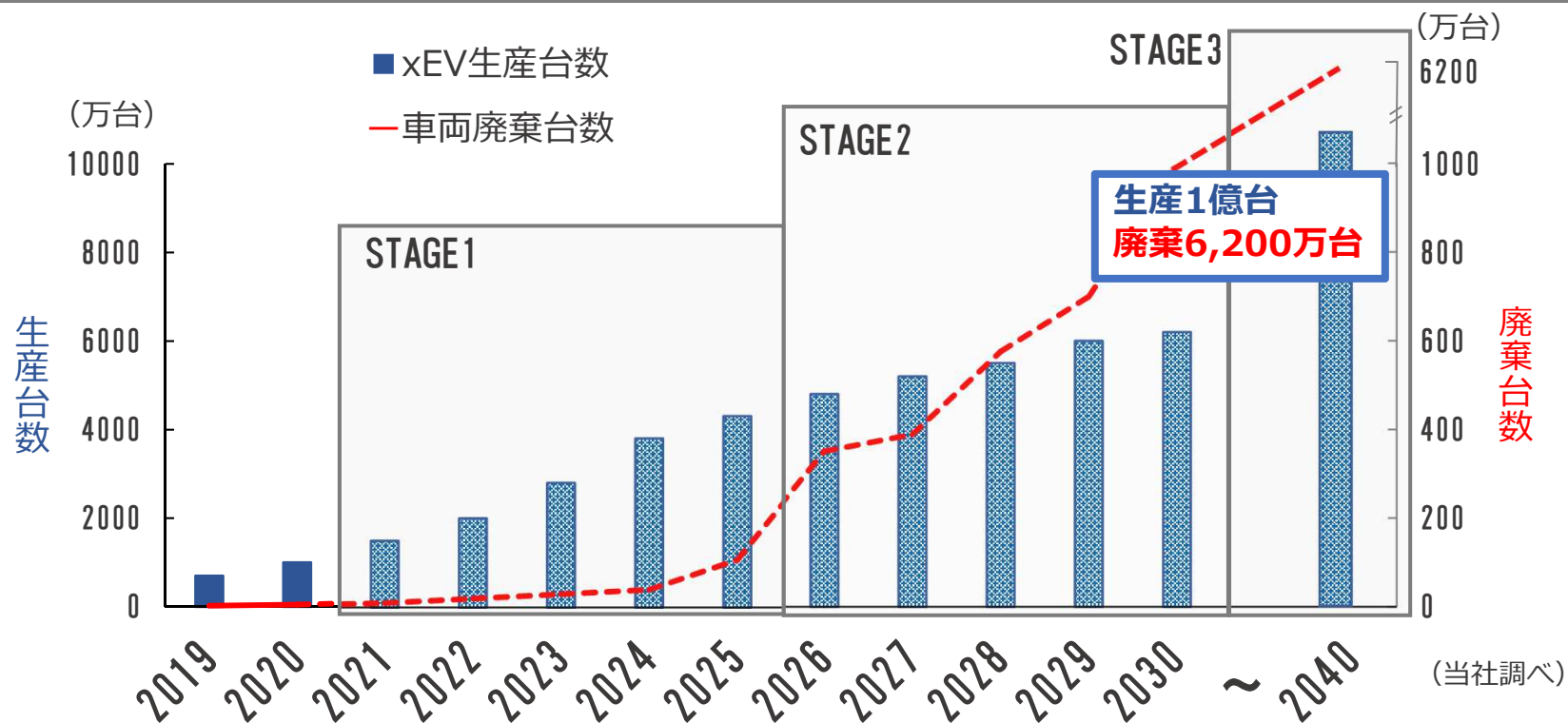


対話による工程確立



← リサイクル工程順序

↔ 対話



STAGE1
世界LiBスクラップの
2%をリサイクル

2022/4
いわき工場竣工
⇒LiBリサイクルスキーム構築

2023
量産開始及び収益化

STAGE2
世界LiBスクラップの
10%をリサイクル

2025
市場廃棄品の増加に伴い
売上、利益ともに増加予想

STAGE3
世界LiBスクラップの
20%をリサイクル

2030~2035

売上高 **290**億円

経常利益 **30**億円

1. 会社概要
2. 事業概要
3. 成長戦略
- 4. 株主還元**

1. 株主還元に関する目標

- ✓ 株主に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、**安定配当**を継続する。
- ✓ **ROE10%**を目標とし、資本効率を高め持続的な成長を目指す。
- ✓ 業界内における競争に勝ち残るための企業体質強化、今後の事業展開等に備えるための内部留保充実等を勘案しながら、業績に裏付けられた成果の配分を行う。

2. 株主還元イメージ

中長期的な企業価値向上 = **株主利益の最大化**



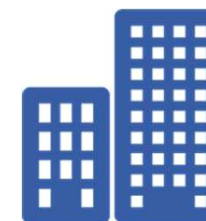
株主還元

先行き不透明な経営環境でも
毎年安定配当を実施



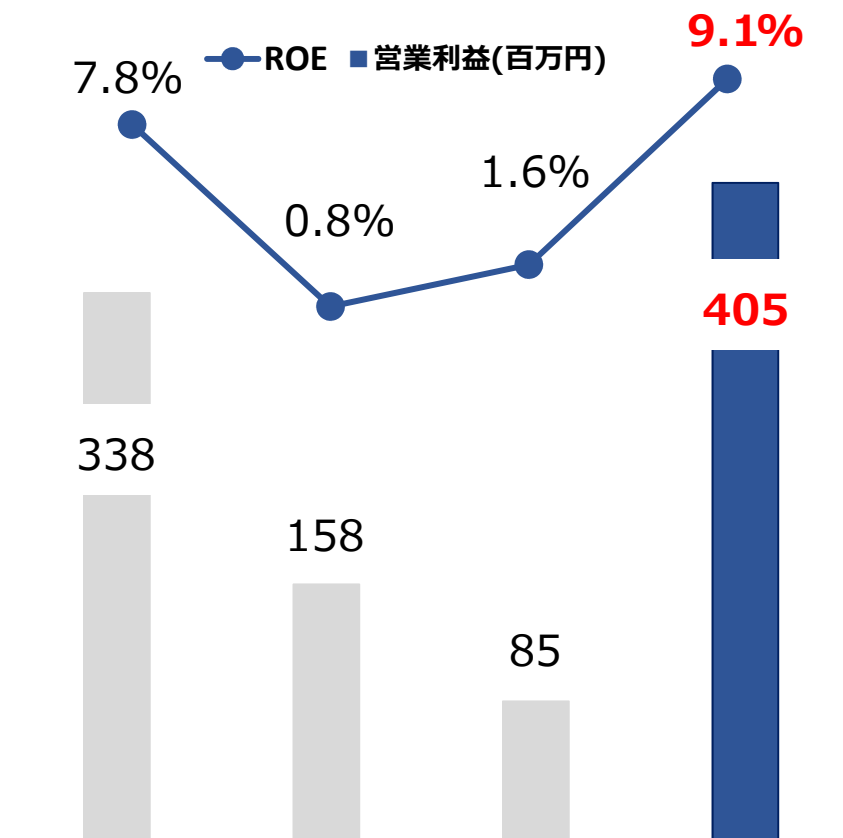
成長

ROE10%を確保し資本効率を
高め、持続的な成長を果たす



安定性

事業展開や不測の事態に備え
十分な内部留保を確保



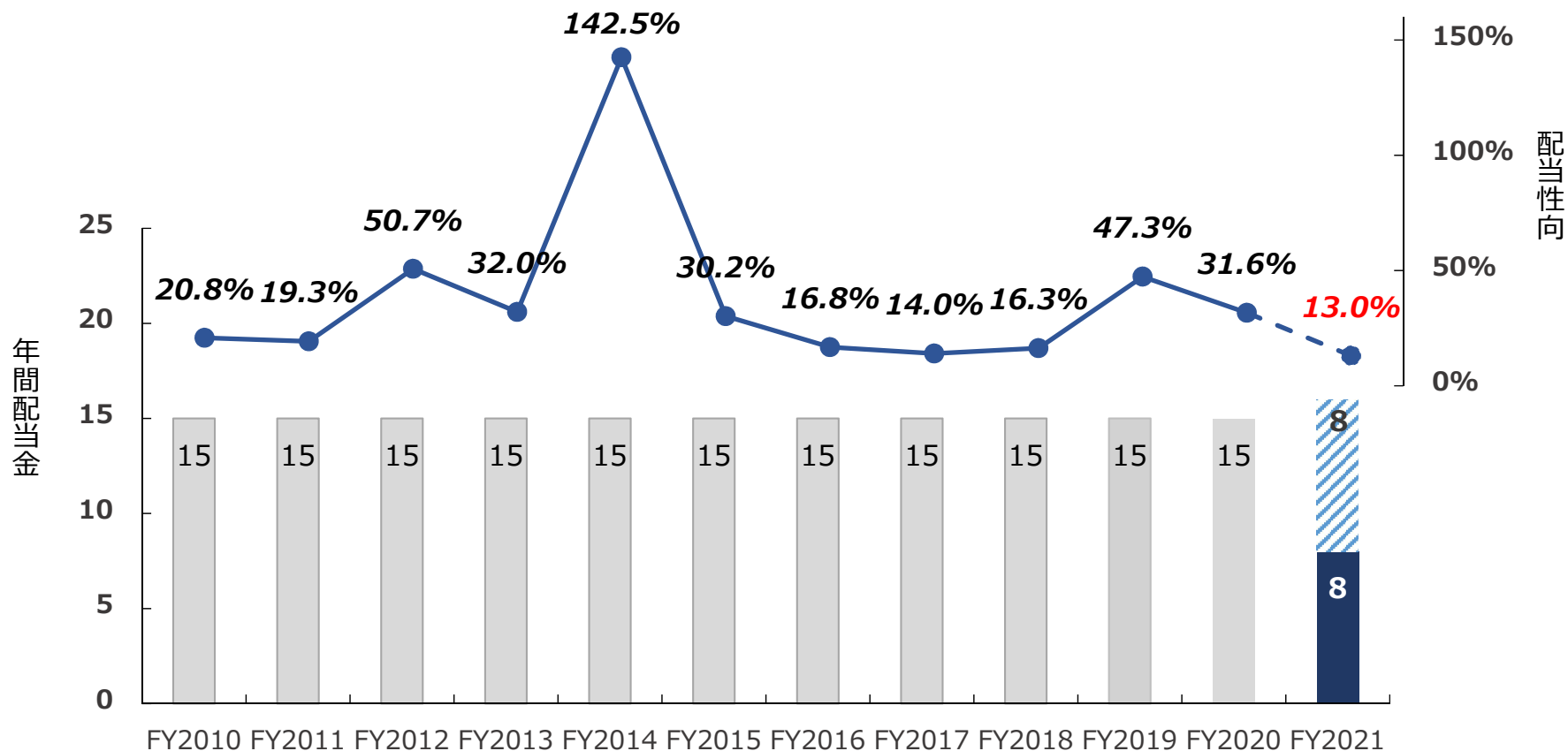
目標とする経営指標

ROE 10%

- 2021年9月期予想ROE **9.1%**
- 資本効率を意識した経営を実践
 - ・ LiB再生事業の早期化・収益化
 - ・ 貴金属事業における事業領域の拡大
 - ・ 資本コスト概念の導入
- 事業成長にあわせ資本政策を実施しつつ、収益力の向上で目標達成を目指す

	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021
売上高当期純利益率	2.7%	0.8%	1.6%	3.9%
総資産回転率	1.37	1.55	1.07	1.13
財務レバレッジ	2.1	2.1	2.2	2.1
ROE	7.8%	2.7%	3.9%	9.1%


配当計画



2021年1月31日を基準日とし1株を2株に分割

⇒1株あたり8円×2 = **16円**

実質上の増配



<IRに関するお問い合わせ先>

株式会社アサカ理研

管理本部 経営企画部 経営企画室

〒963-0725

福島県郡山市田村町金屋字マセロ47番地

TEL : 024 (944) 4744

FAX : 024 (944) 4749

E-MAIL : ir@asaka.co.jp

URL : <http://www.asaka.co.jp/>

- 本書には、当社及び当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っています今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 本書はいかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付の申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

Appendix

重要課題	主な取り組み	社会的価値	経済的価値	貢献するSDGs
環境 資源の枯渇 有害物質の発生 資源の偏在性	希少貴金属の再生 廃液の再生	資源の有効活用 地球環境への負荷軽減 サークュラーエコノミー※ 資源の安定供給	貴金属・環境事業売上 7,276 百万円 (FY2020実績)	
	安全操業 自主環境基準値	地球環境への負荷軽減 地域住民の安心安全	工場の安定稼働 ステークホルダーからの 信頼確保	
地域 安心安全な生活環境	人事評価制度の 再構築 教育制度の拡充 健康経営	働きがいの向上 当社を通じた自己実現 社員の健康維持	効率・生産性の向上 社員の安定雇用	
	株主との対話重視 改訂CGコードへの 対応 RMAP	情報開示の充実 株主利益の保護 不正不当の排除	企業活動のリスク軽減 投資先として魅力向上	
社会・人財 働き方改革 働きがい 社員の健康	企業統治 信頼される企業へ			

企業価値の向上・持続的な成長



2021年3月
「第2回 こおりやまSDGsアワード」受賞

- 限りある資源の有効活用を目指す



2021年7月
中小企業無災害記録証第三種 (銅賞) 受賞

- 連続無災害記録日数 1,800日 (更新中)
- 従業員の働く環境をより安心・安全に



2022年1月
コーポレートサイトリニューアル予定

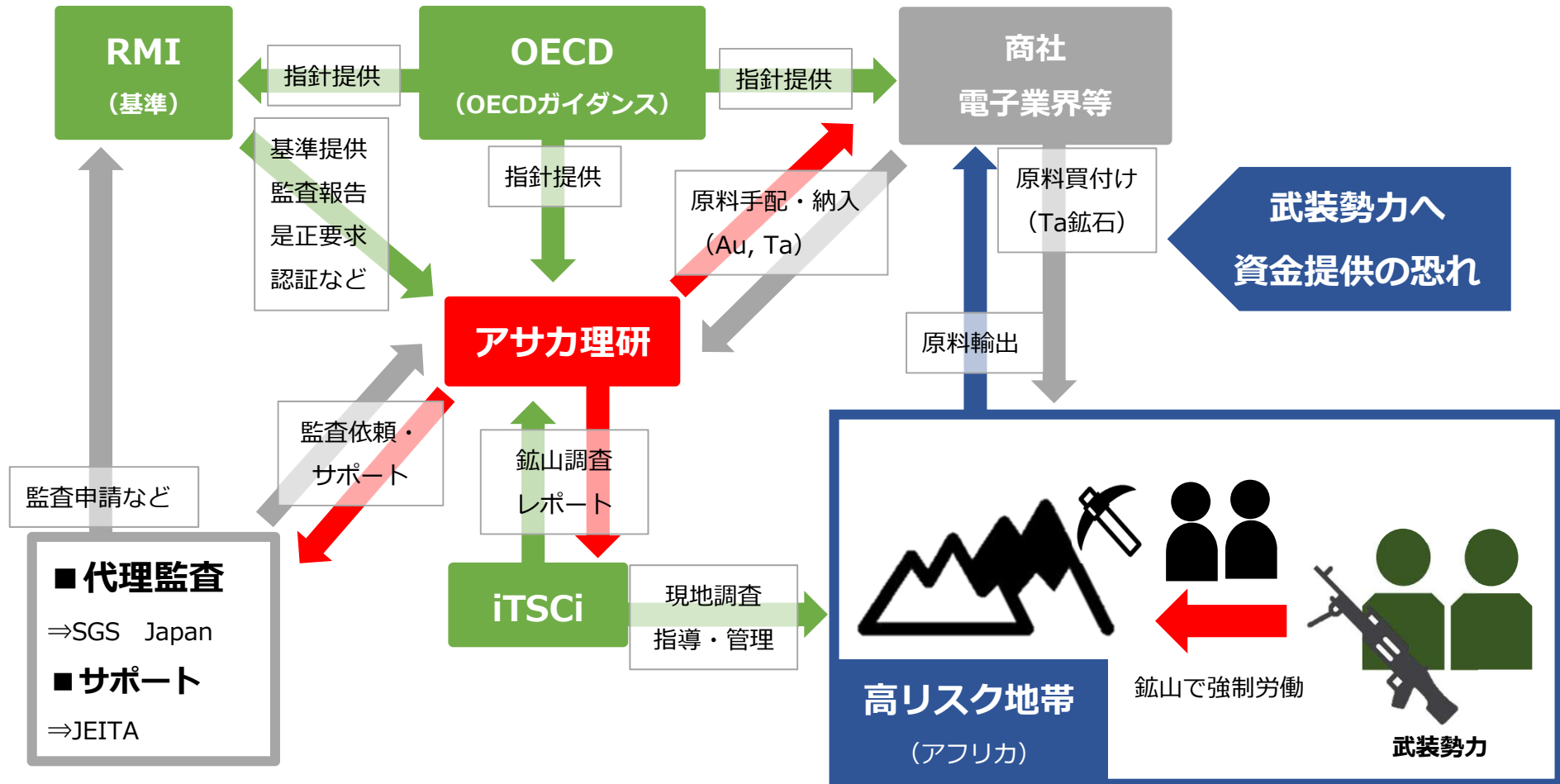
- 細やか且つ適切な情報開示をおこなう
(当社HP <https://www.asaka.co.jp/>)

RMAPとは

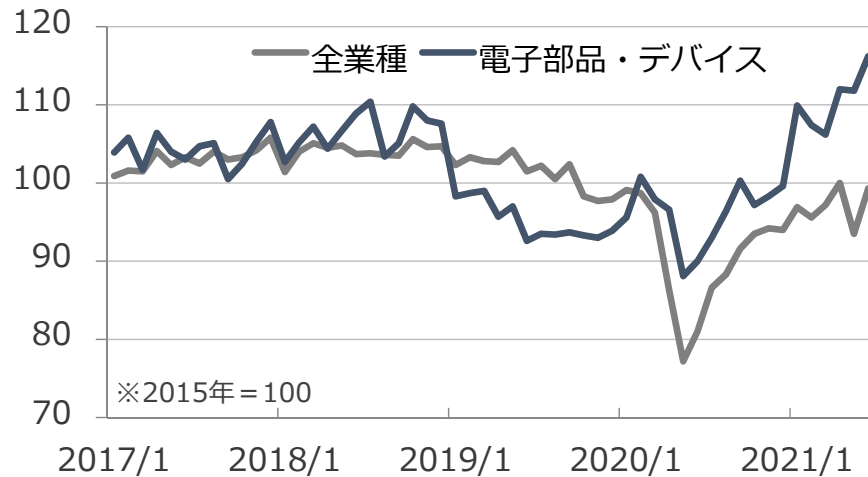
⇒ **R**esponsible **M**inerals **A**ssurance **P**rocess

⇒ サプライチェーン含め事業で取り扱う鉱物が紛争鉱物

(アフリカ諸国などの紛争地帯で採掘された鉱物資源) ではないかを調査し、保証する一連のプロセス



鈇工業生産指数



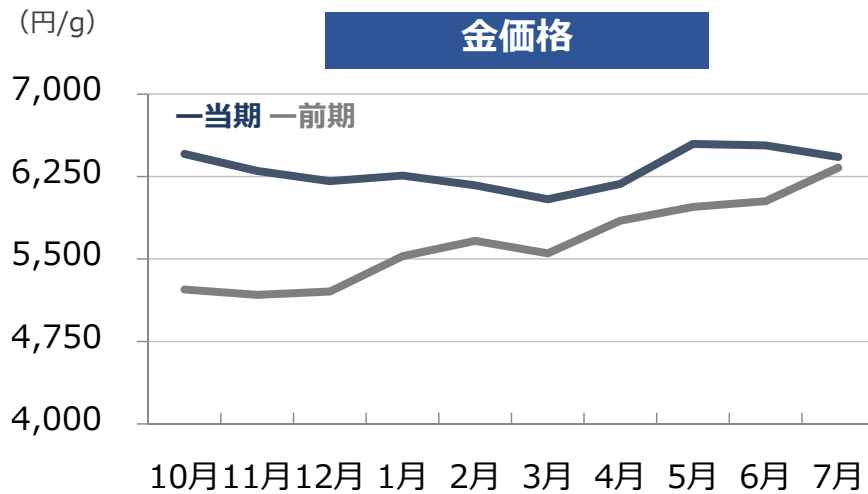
出所：経済産業省 鈇工業指数（生産・季調済）

為替相場



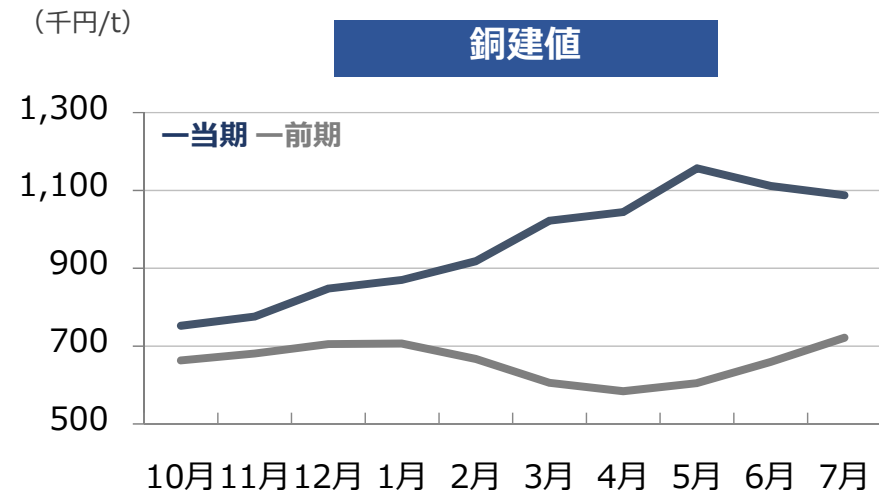
出所：日本銀行（東京市場 ドル・円スポット中心相場/月中平均）

金価格



出所：田中貴金属工業株式会社

銅建値

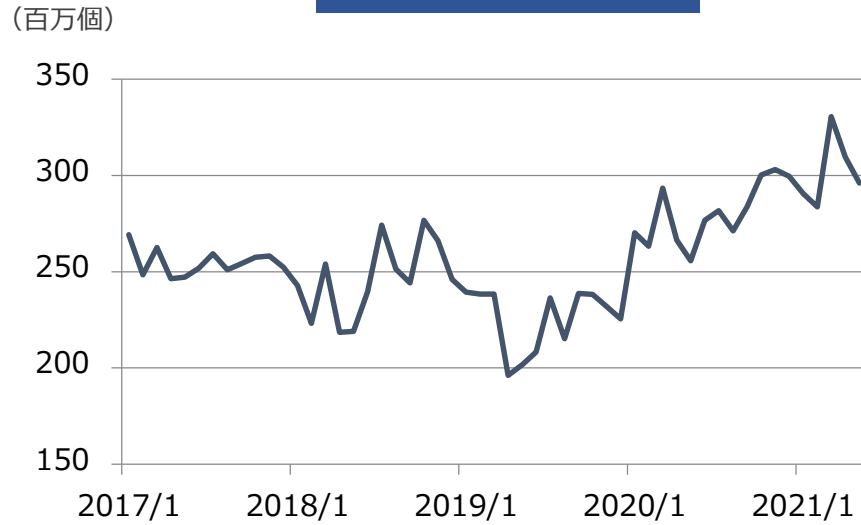


出所：JX金属株式会社

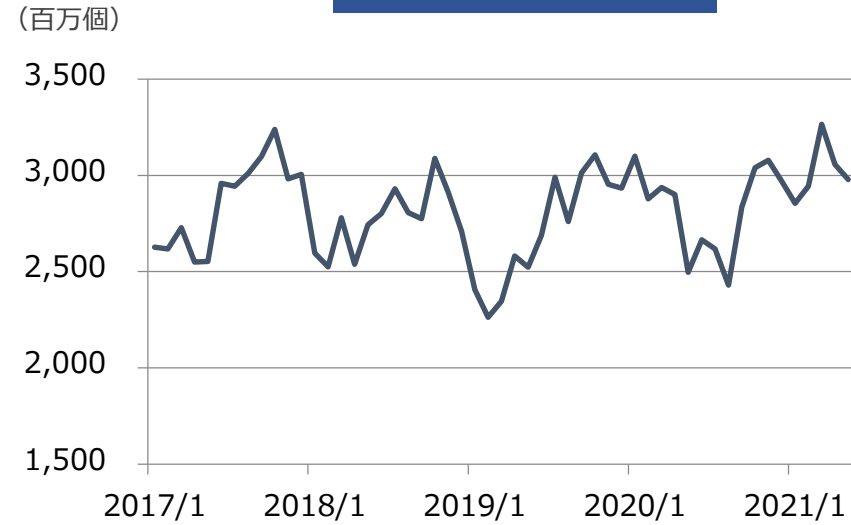
業界別生産実績



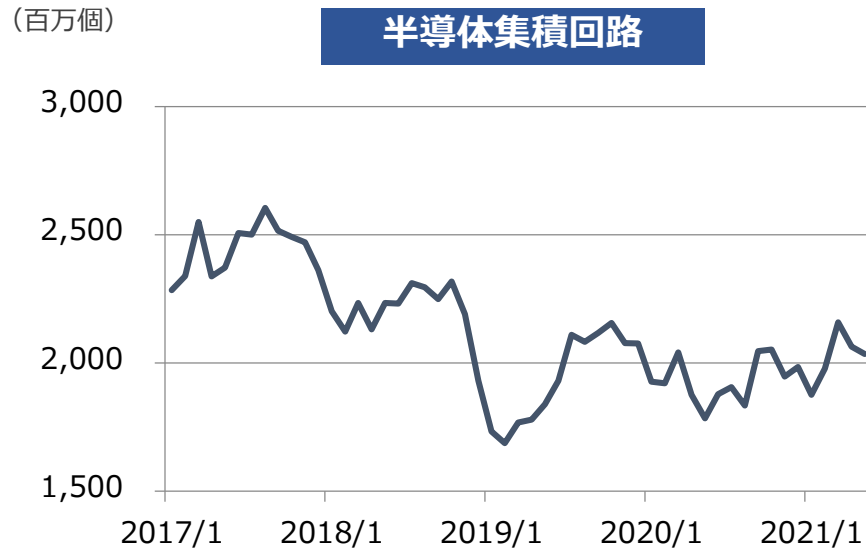
水晶振動子



コネクタ



半導体集積回路

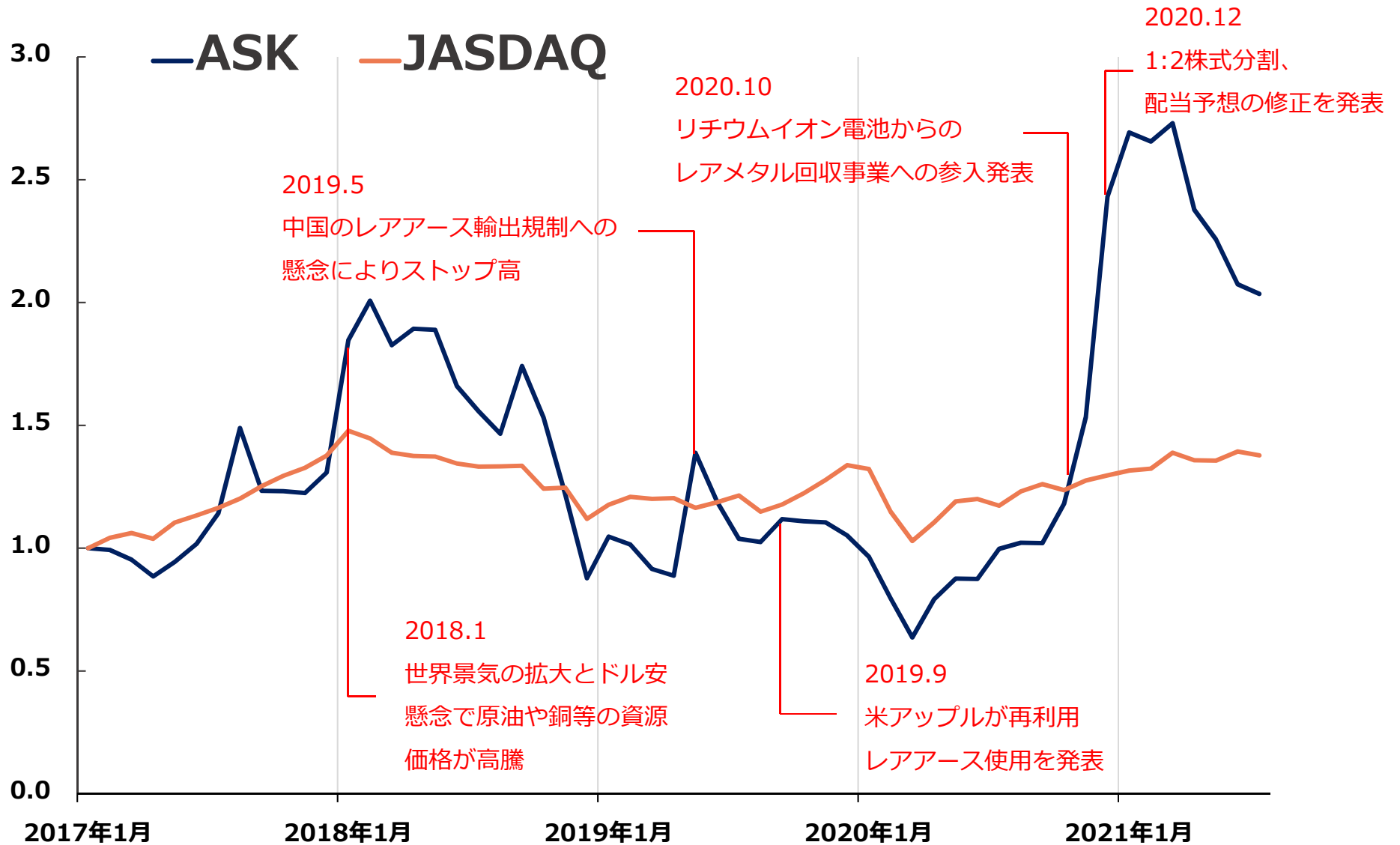


電子回路基板



出所：(社)電子情報技術産業協会

株価推移



※ 2017年1月 = 1.0 として算出